

第2回 利根川上流域大規模氾濫に関する減災対策協議会

実施日：平成28年9月12日(月)14:00~15:30

場所：さいたま新都心合同庁舎2号館5階 共用大会議室501

出席者：古河市長(代理：防災交通課長)、守谷市長、坂東市長(代理：交通防災課長)、五霞町長(代理：生活安全課長)、境町長(代理：副町長)、栃木市長(代理：危機管理監)、佐野市長(代理：危機管理課長)、小山市長、野木町長(代理：総務課長)、伊勢崎市長(代理：安心安全課長)、館林市長(代理：安全安心課係長)、玉村町長(代理：生活環境安全課長補佐)、板倉町長(代理：総務課長)、明和町長(代理：総務課長補佐)、大泉町長(代理：副町長)、邑楽町長(代理：安全安心課係長)、さいたま市長(代理：防災課副参事)、熊谷市長(代理：危機管理監兼危機管理室長)、行田市市長(代理：管理課長)、加須市長(代理：治水課主幹)、本庄市長(代理：建設課主査)、春日部市長(代理：市長公室次長兼防災対策課長)、鴻巣市長(代理：副課長)、深谷市長(代理：総務防災課長補佐)、草加市長(代理：建設管理課主事)、越谷市長(代理：治水課主幹)、桶川市長(代理：安心安全課長)、久喜市長(代理：消防防災課主事)、八潮市長(代理：危機管理防災課長)、三郷市長(代理：環境安全部副部長兼危機管理防災課長)、蓮田市長(代理：道路課 主査)、幸手市長(代理：防災安全課長)、白岡市長(代理：副市長)、上里町長(代理：まち整備課長)、杉戸町長(代理：住民参加推進課主査)、松伏町長(代理：総務課主幹)、野田市長(代理：管理課主幹兼管理課長補佐)、我孫子市長(代理：建設部参事兼治水課長)、足立区長(代理：企画調整課長)、葛飾区長(代理：防災課長)、江戸川区長(代理：危機管理室長)、茨城県防災・危機管理課長(代理：副参事)、茨城県河川課長(代理：技佐兼課長補佐)、栃木県危機管理課長(代理：危機管理課副主幹)、栃木県河川課長、群馬県危機管理室長、群馬県河川課長、埼玉県河川砂防課長(代理：副課長)、千葉県危機管理課長(代理：主査)、千葉県河川環境課長(代理：副主幹)、東京都防災課長(代理：主任)、(独)水資源機構特命審議役(関東事業担当)、気象庁東京管区気象台気象防災部長(代理：次長)、国土交通省利根川上流河川事務所長など 総勢54名

(1) 開催状況



(2) 協議会内容

- 1) 協議会規約の改定(案)について
- 2) 幹事会の報告について
- 3) 利根川上流域の減災に係る取組方針(案)について
- 4) その他(今後のスケジュールなど)

(3) 協議結果

協議会規約の改定(案)、利根川上流域の減災に係る取組方針(案)について、了解が得られた。今後については、5ブロックの部会の開催(ブロック目標、ブロック計画(案)の策定)及び次年度以降年1回の協議会を開催して、フォローアップを実施していく。

(4) 意見等

- ・防災無線が聞こえづらいという課題があげられており、先進事例として防災ラジオが有効と聞いているため、これを反映して取組に掲載している。大事な情報が聞こえないという問題に対応する手段が他にもあるかも知れないので、ラジオに限らず対策を検討することが重要である。
- ・他市では防災ラジオを、希望者に一定の自己負担を求め配布したと聞いている。本市でも配布を検討しているが、高価なためどのように進めるか検討し、対応したい。
- ・昨年9月の洪水では内水被害が発生した。事務所長からの的確なホットラインにより無事に避難ができ、感謝している。70年ぶりの大被害であり、市政の課題として推進している。市民と一体となったものとして、この協議会の取組は非常に重要で有効と考えている。また、洪水を安全に流す対策の整備促進を図ってほしい。